

認定NPO法人ノーベル 2018年度活動報告書



2010年の病児保育サービスインから9年を迎えた認定NPO法人ノーベル。
2018年度は、日々変化する社会に対して、しなやかに応えるべく、ノーベルらしさを忘れずに、様々な課題解決や改善を重ねてきました。病児保育を必要とする親御さんが年々増えるその一方で、保育の担い手不足が深刻化しており、人材採用・育成にも注力する1年でした。その中でも「関わりたい」「働きたい」と選ばれ、利用者ニーズに十分に
応えられる基盤づくりを、そして「子どもを産んでも当たり前にも働ける社会」を目指します。



NOBEL

数字でみるノーベルの病児保育



2018年度も安心・安全・無事故の保育を徹底しました。また、同年1月～5月まで、保育スタッフ不足により新規入会制限を設けた影響を受け、新規会員数は468名。前年度横ばいの入会者数となりました。今後は、冬の感染症や育休復帰に備えて、最もニーズが増える時期に応えられない状況を生み出さないように、保育スタッフの採用・育成強化に取り組みます。

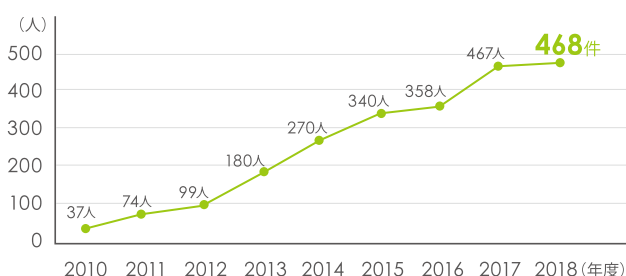
累計会員数 **2,284**名

病児保育件数 **2,365**件

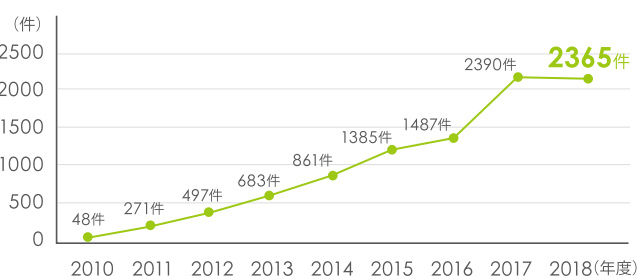
累計病児保育件数 **9,980**件

2019年4月2日
10,000件突破

新規入会者数の推移



病児保育お預り件数の推移



2018年度会計報告

2018年度貸借対照表

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	73,985,736		
売掛金	13,789,003		
立替金	588,194		
前払費用	560,892		
未収入金	718,365		
流動資産合計		89,642,190	
2.固定資産			
(1)有形固定資産			
一括償却資産	0		
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
ソフトウェア	3,552,752		
無形固定資産計	3,552,752		
(3)投資その他の資産			
差入保証金	2,000,000		
保険積立金	737,055		
繰延消費税	167,634		
投資その他の資産計	2,904,689		
固定資産合計		6,457,441	
資産合計			96,099,631
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	7,236,660		
未払費用	1,263,965		
未払法人税等	70,000		
前受金	834,102		
預り金	1,684,398		
流動負債合計		11,089,125	
負債合計			11,089,125
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		79,340,272	
当期正味財産増減額		5,670,234	
正味財産合計			85,010,506
負債及び正味財産合計			96,099,631

2018年度活動計算書

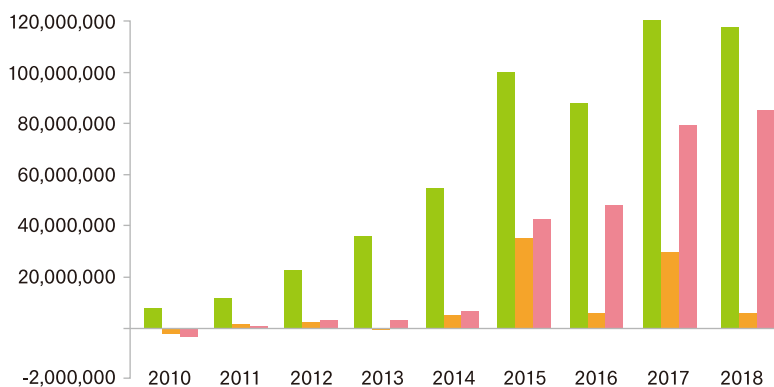
科目	金額(単位:円)		
I 経常収益			
1.受取寄付金	22,222,629	22,222,629	
2.受取助成金等	4,300,000	4,300,000	
3.事業収益			
病児保育事業収益	85,922,055		
病児保育事業収益 (ひとり親支援)	1,442,278		
ソーシャル プロモーション事業収益	419,555		
他団体事業受託収益	3,924,000	91,707,888	
4.その他収益			
受取利息	1,094		
雑収益	34,295	35,389	
経常収益計			118,265,906
II 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費	70,914,683		
(2)その他経費	22,366,111	93,280,794	
2.管理費			
(1)人件費	9,127,995		
(2)その他経費	10,116,718	19,244,713	
経常費用計			112,525,507
税引前当期正味財産増減額			5,740,399
法人税、住民税及び事業税			70,165
当期正味財産増減額			5,670,234
前期繰越正味財産額			79,340,272
次期繰越正味財産額			85,010,506



2010～2018年度の推移(売上/当期純利益/正味財産)

■ 売上 ■ 当期純利益 ■ 正味財産

年度	売上	当期純利益	正味財産
2010年度	7,188,795	-395,807	-1,208,195
2011年度	12,921,360	1,444,241	236,046
2012年度	23,610,090	1,956,118	2,192,164
2013年度	36,688,467	-30,380	2,161,784
2014年度	55,787,928	4,967,272	7,129,056
2015年度	100,885,497	35,470,900	42,599,956
2016年度	88,839,261	5,921,474	48,521,430
2017年度	120,029,199	30,818,842	79,340,272
2018年度	118,265,906	5,670,234	85,010,506



NOBEL

病児保育事業 2018年度の主なトピックス

スペシャルニーズ保育の受け入れ体制見直しや、今日困っている親御さんに寄り添うために即日入会のリリースなど、病児保育が「使いたいときに誰もが使えるセーフティーネット」として働く親御さんのサポートができるように2018年度も様々な課題解決や改善に取り組みました。

TOPICS

01

スペシャルニーズの 受け入れ体制を見直し

2013年から発達障がい児・身体障がい児向けのオプションプラン「スペシャルニーズ保育」を受け付けていましたが、お子さまの状態によっては入会をお断りするケースもありました。「誰もが利用したい時に利用できるセーフティーネットへ」の指針と乖離している課題に対して、障がい福祉の専門団体と提携し、入会時や定期面談のあり方や、登録資料や現場体制等を見直しました。また、新体制によって、健常児の基本パックよりも経費がかかる部分については、受益者負担ではなく、「ドノ親子ニモ応援団プロジェクト」にご賛同いただいた寄付者の皆さまからのご寄付を財源に、スペシャルニーズオプション料金(1,000円/月)を無料(※1)として、健常児でも障がい児でも同料金で利用可能な仕組みを新たに作りしました。

(※1) その他に、保育スタッフ2名体制で出勤した際の2人目人件費・交通費・研修費・採用費などにご寄付を充当しています。

▼提携団体

NPO法人み・らいず2

▼提携医・医療アドバイザー

中島小児科 中島滋郎先生

かめさきこども・アレルギークリニック 海老島優子先生

▼現在お預かりできる症例

自閉症スペクトラム / 発達障がい / 二分脊椎症 / 水頭症 / 脳性麻痺 / ダウン症 / 染色体異常(21トリソミー) / 遺伝子異常症 / 心因性ストレス症 / アテトーゼ / 下肢マヒ / 四肢マヒ / シェント重責けいれん / 極低体重出生児

みんなで病児保育支援を、どの親子にも。



ドノ親子ニモ 応援団

ひとりおかんっ子も スペシャルニーズっ子も どの親子も支えるプロジェクト

寄付会員

活動のご報告

継続的なご寄付

病児保育ノーベルの「ドノ親子ニモ応援団プロジェクト」

助けて!

継続的な病児保育支援

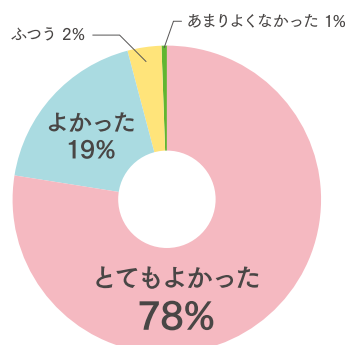
ひとりおかんっ子&スペシャルニーズっ子家庭

TOPICS

02

創業以来9年間、 会員満足度95%を維持

保育に関する5段階評価で、アンケート回答のあった2,048件の保育に対して、[5:とてもよかった][4:よかった]の割合が96.8%となり、創業以来9年連続で、95%以上を維持しています。保育スタッフ入職前の充実した研修制度や、ケース会議においても情報共有や改善につとめ、日々の保育の質の向上につなげています。



N=2,048
保育後アンケート回答のあった
2,048件より算出

TOPICS

03

法人パックをリニューアル 負担比率のカスタマイズ可能に

従業員の病児保育利用料を法人が一部負担をする、法人向けの病児保育契約(法人パック)の内容を2018年10月に改定。既存の法人パックは、法人・従業員の負担比率(額)が一律で固定になっていましたが、改定により法人ごとに負担比率(額)のカスタマイズ設定が可能になりました。法人・従業員の個別のニーズに応じて料金設定が可能になったことで、導入のハードルが下がり、新規法人契約件数が伸びました。

▼2018年度新規加入企業(敬称略)

大阪市の医療施設 / 株式会社ウエストエステート / 法律事務所サラ / ひらいわクリニック / なかすじ矯正・小児歯科クリニック



TOPICS

04

尼崎市・西宮市 0-2歳児受け入れ拡大

3歳児以上入会可能エリアとしていた尼崎市・西宮市において、2018年10月より0-2歳児のご入会が可能に。行政による病児保育補助制度も開始し、西宮市在住者からのお問合せ数は前年度比3倍になりました。

TOPICS

05

最短 即日入会・翌日利用 オンライン入会をリリース

春の育休復帰・お問合せが増える時期にあわせ、オンラインで最短即日入会・翌日利用が可能なシステムを2019年3月にリリースし、困った時にすぐ利用できる環境を整えました。

NOBEL ファンディング 2018年度の報告



チャリティランナー数 **51**名

5年連続で大阪マラソンの公式寄付先団体に採択され、51名の方がそれぞれ7万円以上のご寄付を集め、チャリティランナーとして参画。ラン会や活動説明会を定期的に開催し、ご寄付の使途やどのような効果が出ているかなどを、メールマガジンなどはもちろん、直接ご説明をすることに取り組んだ1年でした。



法人からの大口寄付 **3**法人



▲株式会社カタログハウス様が運営する「通販生活」のオンライン売上金額の1%と同額を、シングルマザーを支援する団体にカンパする企画の支援先として選定いただきました。



▲株式会社Youth Theatre Japan様のチャリティハロウィンパーティで活動紹介の機会をいただきました。チャリティシート(有料席)の売上の一部をご支援いただきました。

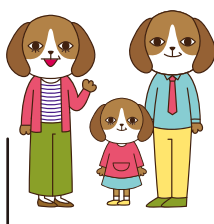


▲日頃より社内イントラネットにて、当団体の活動を紹介いただいている大日本住友製薬株式会社様の役員・従業員の給与天引き寄付に会社からの寄付を添えてご支援をいただきました。

NOBEL ドノ親子ニモ応援団プロジェクト 利用者さまからのメッセージ



子どもの病気で休むと、職場で嫌味を言われることも。それは覚悟の上だったのですが、子どもが38℃以上の熱があっても帰れなかったり、体力的にも精神的にもまいっていましたが、入会後は「何かあってもノーベルがある」という心の拠り所ができて、私も子どもも以前よりもよく笑うようになったと思います。私達親子が笑って暮らせるのは寄付をしてくださっている皆さまのお陰です。(利用会員Iさま)



障がい児2人を育てているのですが、費用面でのサポートは本当に助かります。なんとなく「働いてはいけない」というプレッシャーを感じていたのですが、高齢者介護と違ってゴールが長い分、経済面と親子共々の心と体の健康を考えると、働ける環境はありがたい奇跡の極みだと感じています。心から感謝しています。(利用会員Yさま)

NOBEL 代表メッセージ

2018年度は設立から10年を迎える前の年であり、ノーベルのこれからを改めて考える年でした。ノーベルのビジョンである「子どもを産んでも当たり前働ける社会」とはどんな社会なのか。今までの10年を振り返り、これからの10年をどう進んでいくのか。共働き世帯が2/3を占め、女性の就業率が年々上がっているものの、子育てはまだ母親だけの負担になってしまっている状況は変わらず、理想とする子育てと仕事の両立はできていないのではないのでしょうか。病児保育事業を運営するなかで、現場に向かう保育スタッフや実際の親御さんの声からはそう感じざるを得ません。2018年度も無事に終えられたことを皆さまに感謝し、次の10年に向けて準備を進めていきたいと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



代表理事 高 亜希

2018年度は、法人からの寄付件数・寄付額が伸び、大きな期待を寄せていただく結果となりました。新たに51名のひとり親家庭のお子さんに対して、入会招待することができました。そして発達障がい・身体障がいのあるスペシャルニーズのお子さんを新たに5名入会していただき、計15名のお子さんのサポートにあたっています。

寄付総額

22,222,629円

単発寄付者数

565名

継続寄付者数

162名

「ひとりおかんっ子応援団プロジェクト」から「ドノ親子ニモ応援団プロジェクト」への移行がありましたが、毎月の継続的なご寄付をいただく寄付団員の方々にご賛同いただき、新設した「くじら団員(月1万円のご寄付)」を10名の方が選択してくださいました。

べんずん団員 1,000円/月 95名

ぽんた団員 3,500円/月 35名

しろくま団員 7,000円/月 22名

くじら団員 10,000円/月 10名

サポート法人

25法人

●マザーグループ株式会社 ●株式会社ベネフィット・ワン ●一般財団法人H2Oサンタ ●大日本住友製薬株式会社 ●NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク ●弁護士法人京阪藤和法律事務所 ●医療法人ラ・コール会 ●ヤフー株式会社 ●株式会社ライフウィズ ●億智栄法律事務所 ●株式会社バリューブックス ●キャリアアップ・ラボ株式会社 ●川端経営労務事務所 ●すまいるサポートCLUB(日本マッサージ師支援協会) ●ピーアールソフト株式会社 ●有限会社日英ジャパン ●株式会社Youth Theatre Japan ●株式会社カタログハウス ●株式会社リクルートコミュニケーションズ ●株式会社中創 ●在日米商工会議所 ●株式会社蒼江 ●有限責任あずさ監査法人 ●澤田株式会社 ●ソフトバンク株式会社(敬称略)